



み 議会だより

つなんまち

No.166
2007年1月19日

12月定例議会

秋山郷地区に光ファイバー整備	2P
豪雪等対策基金の設置	3P
一般質問11名	4P~9P
シリーズ・私もひと言	14P

発行：新潟県津南町議会
責任者：議長 高橋 満男

・町のホームページでも議会だよりをご覧になれます。

秋山郷地区の情報ネットワークシステム化

補正総額4億2,215万5千円

補正 予算

一般会計

- 豪雪等対策基金積立金 414万円
豪雪時の重機やオベレーターのリース料補助に
- 秋山郷地区情報ネットワークシステム整備工事 1,000万円
光ファイバー整備工事
- パスポート受付準備費 68万4千円
来年4月1日より役場窓口にてパスポート交付
- 障害者相談支援事業委託料 120万円
10月以降すみれ工房に委託し事業をすすめる。
- 後期高齢者医療広域連合負担金 61万1千円
- 健康管理システム移行データー作成委託料
- 中山間地域活性化対策事業 90万円
- 観光施設修繕費 577万5千円
スキーハウス移動や結束温泉施設のポンプ修繕
- 町観光協会補助金 200万円
事務局が役場正面玄関前に移動し独立する。
- 除雪対策修繕料増 400万円
貝坂ほんとう橋修繕
- 冬期集落保安要員報酬増 190万8千円
大場、所平、下日出山集落が追加される。
- 特別支援学級介助員委託料増 1万9千円
- 給食用備品購入費増 85万円
津南小に大型冷蔵庫購入



日本一のカサブランカ（国際花博覧会）

特別会計

国民健康保険

10月1日から妊婦などに代わって、病院が国保や社会保険などから出産育児一時金を受け取る受取代理制度が実施されました。

会計	補正額	総額
一般会計	57,921千円	60億14,205千円
国民健康保険	70,533千円	12億05,640千円
老人保健	2億81,845千円	17億68,632千円
介護保健	▲ 1,534千円	10億86,836千円
簡易水道	716千円	1億81,904千円
下水道事業	5,673千円	8億15,168千円
農業集落排水事業	7,001千円	2億69,527千円

12月定例会

75歳以上独立した医療制度創設

12月定例会は19日から21日まで開かれ、一般会計と6特別会計の補正予算、条例制定、条例改正、工事請負契約など21議案が審議され可決しました。
一般質問は11名が行いました。

広域連合議会の設置

平成20年より75歳以上の高齢者を対象に、「後期高齢者医療制度」が創設されます。運営は都道府県単位に、県内の全市町村が加入する広域連合を組織し実施されます。広域連合議会は、各市町村議会より1名を選出し、定数35名で組織され、広域連合長は関係市町村長のなかから選挙で選ばれます。この議会では、保険料や医療給付に関することなどが決定されます。財源は公費50%（国3分の1、県6分の1、町6分の1）、医療保険者からの支援金40%（国保+社保）、高齢者保険料10%となります。保険料徴収は

秋山郷地区に光ファイバー整備

町が行い、年金から天引きされます。12月議会では、その準備のため61万1千円の補正予算が計上されました。
平成18年～19年の2ヶ年計画で秋山郷地域に光ファイバー網を整備し、地域内無料TV電話サービスが可能となる情報システム化を図ることとなりました。
町役場から秋山郷へ接続する幹線は、国土交通省の光ファイバーケーブルを借用し、そこから各集落へ延びる支線光ファイバーは町が整備し、情報の送受信ができるようになります。TV電話は、秋山郷全世帯（70戸）に配置され、18年度中には30世帯に無償貸与

豪雪等対策基金の設置

平成18年度豪雪で見舞金を集落等に配分しその残金414万円を基金として積み立てることになりました。
活用方法としては、降雪量が県の災害救助条例の基準値に達した時、バックフォアのリース料補助や業者委託したオベレーター代金などにその7割を補助するものです。同じ町内でも雪の降り方が地域によって違いもあり、その場所により柔軟に対応することです。

重度心身障害者医療費助成の改正

70歳以上の高齢者で障害者医療費助成を受けている方も療養病床に入院した場合、食費、居住費の負担がかかります。

ひとり親家庭等の医療費助成の改正

ひとり親家庭の医療費助成を受けている方も療養病床に入院した場合、食費、居住費の負担がかかります。

乳幼児の医療費助成の改正

乳幼児医療費助成制度に障害者自立支援法にかかわる医療費負担が加わりましたが、通院については1回530円の負担に変わりはありません。

教育再生会議の考察と町教育の方向は

教育委員長 町教育振興計画会議等で具体的方針を

▶▶▶ 樋口松雄 議員



津南中の町づくり発表会

問 新しい地域の教育形成と家庭教育の充実への考察は。
教育委員長 日本にふさわしい教育体系の構築と再生を図り、その改革と推進が求められている。当委員会では今後再生会議や町教育振興計画会議等で方針や方策が示された段階で、地域教育、家庭教育を合わせ、協議を重ね慎重に進めていきたい。

問 子どもの生活リズム向上プロジェクトの推進対応について
教育長 最近、食事のあり方が学力、体力、精神面に大き

当町に教育の再生計画はあるか

く影響し、家庭の躰の基本が問われている。
特に子どもたちの学習意欲、体力、気力、反社会行動、基本的生活リズムの乱れが問題となった。今年度文科省の授業として特に「早寝、早起き朝ご飯」を国民運動として推進し、町でも心身共に健全な子どもを育てるため、教育関係者と実効性ある組み立てを行う考えで進めたい。

問 児童生徒減による空き教室の利用方法は。
教育長 現在複式学級対応等で授業効果を上げ、少人数学級対応で別々の教室で行っており、今後見込まれれば考え

問 工事の発注で入札すべきものが随意契約のため、町に損失を与えている。
助役 発注側は、仮設費等で有利な積算額になる。町内5社の見積りから一番安い業者と契約をした。下水道と水道工事は同時施行であり、工事の価格面、管理・施工上の問題から有利に働いている。

国民年金程度で利用できる施設を

問 一人暮らしで75歳以上の町民は何人か。また、健康者であっても将来一人暮らしが困難と予想でき、町の遊休施設利用の検討が必要と思う。このような方々のために、年金程度で利用できる施設の検討を急がたい。

町長 4月1日現在で一人暮らしの方は923名である。老人福祉アパートとして、旧商工会の施設を利用して、最近民間でも計画があるが、当然に年金で入居が可能とすることは考えなければならぬ。



笑顔のグループホーム

入札にあたって個人感情は大問題

問 入札にあたって個人感情は大問題である。工事受注の偏りは、業界指導を行ったか。また、建設業協会の顧問は選挙に利用し不適正であり、顧問は辞退すべきである。
町長 協会に申し入れて顧問を外してくれと言うのは、やぶさかでない。

建設業協会の顧問は辞退を

町長 辞退はやぶさかでない

11名が登壇し質す

飲酒運転の津南町職員に対する基準は

町長 原則免職とする厳しい処分内容とした

▼▼▼草津 進 議員

第3回の総括と今後の取り組み方針

問 第3回大地の芸術祭（7月23日～9月10日）野外芸術の祭典が行われた。地域経済の波及効果と4回目に向けての取り組み、作品の保存方法は。
町長 色々な面で波及効果、経済効果もたされた。第1回からの作品が10作品ある。所有権は広域事務組合にあるが、作品の設置は旧市町村に管理が委託されている。引き続き管理していく。今後作品の活用方法は通年観光に向けた方向で検討している。

津南町における懲戒基準の策定は

問 飲酒運転は「絶対に許せない」津南町としての職員に対する処遇基準はあるか。



めざせ日本一

津南駅前活性化の支援対策を

町長 去る11月7日に懲戒処分基準を見直した。飲酒運転に対する扱いは、酒気帯同、乗も含め原則免職とする厳しい処分内容とした。

問 日本一の階段作り（1万5千段）構想計画を、上野下平集落の皆さんと検討中、町としての支援とその考えは。
町長 地域で実行委員会を立ち上げてもらえば支援は惜しまない。

新農業政策では農家は守れない

町長 規模の大小・制度有無ではない

▶▶▶大平謙一 議員

魚沼米の品質の向上と野菜も含めた販路拡大

問 日本の食糧自給率は、今40%を切っている。先進国では最低である。さらに来年は日・豪でFTA自由貿易協定の締結に向け交渉に入ろうとしている。日本農業は最大の危機に直面している。地域農業を守り、独自策を示し農家を指導すべきと思う。
町長 新聞や各種の資料等で規模の大きな農業者においては十分関心を持って目を通して、新政策における米については、担い手経営安定対策とほぼ同様の内容であり、双方の拠出金により下落時に補填するもので

国民保護法が町民に与える影響は

問 有事を想定した国民保護法は罰則を伴った内容であり、町民の権利に影響はないのか。
町長 外交努力によってもなお防げない事態の発生に対するもので、現時点では県と協議中である。



各農家から集荷された魚沼米

振興計画と新年度予算は

町長 優先度を踏まえ継続していく

▶▶▶ 吉野 徹 議員



豪雪対策は万全か

問 各課配分による新年度予算は振興計画の中で政策や事業へどう影響するのか。

町長 行政や民間主体の中で総合振興計画であり、住民提案を重視し、事業内容を精査し、優先度を踏まえるなかで継続していく。

問 振興計画で継続していく主要な政策・事業と住民への痛みの部分について伺う。

町長 使用料の受益者負担や福祉サービスの見直し、各種補助金、入湯税の見直しなど提案されているが公平な負担

計画遂行の中で住民への影響は

のあり方や現行福祉水準の維持、特別会計への繰出金、受益者負担等慎重に対処していく。

冬対策について

問 豪雪見舞金の使途と要援護世帯への除排雪対策、小集落への対策は

町長 要援護世帯へは各担当者で定め対応していく。冬期集落保安要員の継続や非常事態での自衛隊要請など冬の対応策は整っている。豪雪見舞残金は豪雪時の基金とし、小集落除雪機械借り上げ補助金等に対処したい。

不登校生の支援体制強化を

教育委員長 津南中に人的配置をしたい

▼▼▼ 藤ノ木富有 議員

不登校生の学習権の保障が大切だ

問 不登校の要因は多様化しており、学校だけの対応では困難。町単独で津南中に人的支援をする考えはないか。

教育委員長 人的配置をした。どの様な体制で支援できるか学校現場と十分話し合っ

三箇・津南原分園の休園、統合

問 三箇・津南原保育園(分園)の休園の経過について。

町長 適正規模の保育園のなかで子どもが育つことを考慮し、関係者の理解を得たので



本園に統合となる、三箇・津南原分園



19年4月より本園に統合する。空き施設は冬期老人アパートとして利用してはどうか。

町長 地域においてそれが最も望ましいならば、地域の皆さんと研究し、対応したい。

いじめ解決に何が大切か

教育長 早く発見し適切な指導が出来るかが重要

▶▶▶ 藤ノ木浩子 議員

人間としての信頼関係が大事

問 教育現場での学校評価児童、生徒、教員評価、いじめ、不登校などについての評価項目が多数あるが、数値目標を掲げ成果を求めるやり方をどう思われるか。

教育長 学校評価という競争原理を導入しつつあるが、矢継ぎ早の教育改革に、学校現場が困惑していることに配慮が必要と感じている。

問 学校生活全体が、教員も生徒も評価の対象とされ、人格丸ごと競争させられているのではないか。

教育長 評価の目的がわかっていればマイナスになる訳で



仲間と楽しく磁石の実験

ない。評価の数値化でいじめがある。悪い学校と評価を意図するのはまずい。いじめをいかに早く発見し、適切に対処できるかが大事である。

問 教員勤務実態調査による平均残業時間は、平日2時間43分、休日3時間13分となっている。町内校はどうか。

教育長 実態調査と大差ない勤務時間となっている。文科省からも適切な対応を考えてもらい、見守っていきたい。

問 学力テストの学校間、自治体間の競争競争というなかでいじめやストレスの発生しやすい環境になつていないか。

教育長 競争させるためのテストでない。課題克服のため

二学期制導入は時間をかけて

教育長 教育委員会では決定している

▼▼▼ 根津勝幸 議員

熊の保護と駆除対応は

問 衛生環境の中の熊の保護と駆除について伺う。

近年熊が人里近くまで出てきて、農作物等への被害が大きくなり、多くなっているが、保護と駆除についてどの様に考えるか。

町長 当町では人的被害はなかったが、スイートコーンなどには甚大な被害があった。その都度広報も流したが、人的被害の場合は駆除もしなければならぬが、里山においては、山栗などの植栽により自然林を保護し、放獣も考えていかなければならない。現在おりは2基であるが、来年度2基増やして、放獣を試みたい。



共存も必要ではないか

二学期制導入は

問 来年度「学校のあり方検討委員会」が発足するが、二学期制についてはもう少し時間をかけ、関係者の理解を得たほうがいいのではないか。

教育長 「学校のあり方検討委員会」は、小中学校の規模適正化について検討するので幅広い検討はしない。二学期制については20年度からの導入を教育委員会決定している。各学校で準備に取り組んで頂いている。

障害者自立支援法は先行き不安

町長 法改正は改悪といっても過言ではない

▶▶▶ 大島知美 議員



障害者支援は 人間社会の重要課題

問 4月からの法施行に伴う影響と、その対策は。

町長 障害者の一割負担、生活費の負担増が考えられる。障害者に対するケアはしっかりとしていく。利用者を地域で支えることが必要である。

問 すみれ工房の今後のあり方について、どのように考えているか伺う。

町長 障害の種類にかかわらず受け入れる。工賃収入増に取り組み、施設利用者の増加に努力する。町としても今後取り組んでいく。

Bフレッツ加入 出だしが肝心

町長 中心部の加入状況がエリア拡大の試金石である。来年2月頃にBフレッツ体験コーナーを設置する。秋山郷地区は2カ年計画で国土交通省所有の光ファイバーを無償で借り受け、逆巻から大赤沢まで全世帯に設置予定。今冬は結東、大赤沢からはじめる。

なお、NTTよりTV電話30台を無償貸与される。

問 現段階での申し込み状況はどうか。

町長 来春接続可能地域の仮申し込みが218件で本申し込みは55%、さらなる加入促進を図る。

問 全町への取り組みをどう進めるのか。

町長 中心部の加入状況がエリア拡大の試金石である。来年2月頃にBフレッツ体験コーナーを設置する。秋山郷地区は2カ年計画で国土交通省所有の光ファイバーを無償で借り受け、逆巻から大赤沢まで全世帯に設置予定。今冬は結東、大赤沢からはじめる。

中深見地区の水道・町道整備促進を

町長 できる限り早期に対応したい

▶▶▶ 富沢春江 議員

町道整備を急げ

問 前後に広域農道が整備されたため、交通量が多くなつたが、通称深見坂は旧態依然とした道幅の上、近年の豪雨豪雪、落石等危険度が増大している。地元からの要望も毎年出されている。早期に拡幅等整備できないか。

町長 全線整備は20億からの事業費が必要で困難。将来手戻りにならないような待避所を設置していく考え方で、来年度予算要求もあがっているが、出来る限りと考えている。時間をいただきたい。具体的になれば地域と相談していく。

早期に高位置 配水槽新設を

問 中深見地区水道は施設も老朽化し、消火栓の使用にも支障をきたす心配がある。早期に町で計画している中央水道の高位置配水槽新設を願いたい。年次計画を示されたらいい。

町長 現在の配水池は水量的に余裕がない。中央水道の全体を見直し、改善を計画的に取り組んで、水の安定、安全供給に出来る限り努めたい。配水槽整備は国の補助事業で実施するが、町としての優先ランクは高いところにある。



危険箇所から早期に改良を

「新経営対策」一般農家も大事に

町長 認定農家一般農家の区別しない

▶▶▶ 大口 武 議員



農家経営を 可能な限り残せ

問 品目横断的経営安定対策（以下対策と略す）によって農家経営の大小により区別するのではなく、続けたい人、農

業をやりたい人を大事にして農家経営の多くを可能な限り維持することに力を注ぐべきではないか。

町長 4月から「対策」への加入申し込みになるが、要件をクリアーできる農家は92戸。近い農家は140戸程度だ。大豆による加入申し込みはな

いし、集落営農組織の設立も当面はないと予想している。「対策」は津南では稲作以外にあてはまるものがない。要は地域農業を担う農業者が目標と意欲を持って農業生産活動に取り組むことが重要で、町としては認定農業者と一般農家を区別しない。ともに大切な担い手であると考えている。

問 日・豪自由貿易協定の締結交渉についての見解は。

町長 日本農業への影響ははかりしれないものがある。経済界という内なる敵も存在するが、少しでも妥協するとアメリカなどがこれに追随し、日本農業の崩壊につながる。また、「対策」も根底から見直さざるを得なくなる。政府は国土対策、食料対策に強い信念を持ってほしい。

新年のご挨拶

議長 高橋満男

新年明けましておめでとうございませう。

昨年の豪雪からすれば夢のような正月で、健やかに過ごさせていただきました。やっぱり雪は少ないほうが良い。

だが正月には雪は必要だ、雪国に育った者には正月の雪は身も心も新たな清新の気を満たしてくれるからであります。そんなことから楽しかった子供の頃の正月に思い馳せながら小学校時代の学校帰りの雪道でよくケンカをしたことを思い出しました。争いものとは単純きわまりないもので、今時のイジメ問題とは比較にならないもので終ってみればアツケラカランとしたものでした。雪やぶに放りこんで雪をかけて押したり、雪つぶてを顔に投げつけたりで、やつたりやられたりの繰り返しでした。

雪の多い地域に育った者は雪に対する愛着も強い。雪が降るからここに住んでいいと思っても過言ではないと思えます。

近年国も雪に対する研究、実験などを踏まえながら雪対策に真剣に取り組んでいると思えます。だが省庁の担当者には実情を細かく把握できていないため、現実とかけ離れた施策も目につきます。お年寄りだけの集落をつくるための補助金制度など、その良い例であります。私もその場

に直面して認識させられる問題も多く、それらの解決方法などを付け加えて国に要請したいと思っております。

また、各省庁の雪に対する諸種の制度、施策を一元化し、事態に迅速に対応できる体制づくりの必要も痛感してまいりますので併せて要請していきます。

国、地方ともに厳しい時代であります。それぞれが持ち場をしっかりと守りながらがんばってゆきたいと思っております。本年も皆様が良い年となりますようにご祈念申し上げますとともに、雪の津南町に生きることに幸せにひたりながら、新年のご挨拶と致します。



問 品目横断的経営安定対策（以下対策と略す）によって農家経営の大小により区別するのではなく、続けたい人、農

業をやりたい人を大事にして農家経営の多くを可能な限り維持することに力を注ぐべきではないか。

町長 4月から「対策」への加入申し込みになるが、要件をクリアーできる農家は92戸。近い農家は140戸程度だ。大豆による加入申し込みはな

建策

議会より 町長に具申

産業建設

総文福祉

総文福祉・産業建設常任委員会は長期にわたる要望事項も含め78件を19年度予算編成等に合わせ町長に要望し、答弁をいただきました。その一部を掲載いたします。

総務関係

○交通安全対策は通学路（特に冬期間）の安全確保をはじめ、歩道・街灯の整備、保育園入り口周辺の安全対策を進められたい。交通安全指導については、高齢者に対する指導体制の強化も図り、交通安全に万全を期されたい。町長 正面の歩道整備はまもなく完了する。通学路の歩道除雪はこれまでの水準を維持し、安全確保に努めたい。カーブミラーの増設、取り替えの整備を進め、交通安全の指導は啓発運動をさらに強化する。

学校教育関係

立ち上げられたい。町長 小・中学校の将来のあり方検討委員会は19年度の立ち上げに向け検討している。三箇小、津南原小の保護者から統合も考えていただきたいたいという強い声があつたので、早急に議論を進めるよう教育長に指示をした。

福祉保健関係

○老人世帯等の除排雪対策及び人員確保のためのシステムの構築を図られたい。町長 17年度から国の財政支援が打ち切られたが、継続して支援していく。人員の対応が各自で無理の場合シルバー人材センター、森林組合インターン者による除雪体制となっている。国において議論しているので要望している。

病院関係

○地域住民の要望にこたえるべき在宅医療の充実を図り、自治体病院の経営健全化のため、国県の財政措置を強く要望されたい。町長 自治体病院と連携を図りながら、国の財政措置を強く要望していかねければならない。

農林関係

○苗場山麓開発事業の第一、第二地区の償還金について、早期一括償還の道も関係機関に働きかけられたい。町長 受益者農家からの要望を受けて償還事務手続きの開始を準備しているが、12月下旬頃に農家の希望をとる予定である。来年秋から一括償還が可能であると聞いている。

町道関係

○道路財源の確保に努め、町道改良並びに舗装事業の推進に努力されたい。町長 必要度において順次計画し、整備を図っていく。整備したところから除雪延長をしている。中深見・堂平線は全線改良は課題が多いので待避所を順次整備していく。

除雪関係

○除雪機械は計画的に更新し、除雪体制は万全を期されたい。また、国道405号秋山地区の除雪体制を改善されたい。町長 秋山地区内にロータリー車の要望を出していたが、1台配備されることとなった。

商工観光関係

○観光振興のため県並びに係市町村と連携するなかで、既存施設のネットワーク化を図り、観光協会、観光関連施設・団体とともに、さらなる誘客に努められたい。町長 連携はもちろんのこと。今回の豪雪は入り込み客に貢献をいただき、多くのお客様が入った。秋山郷については大変な渋滞となったので、来年は誘導員を置きたいと考えている。



完成した町道(下船渡本村地内)

克雪対策関係

○克雪住宅環境整備支援事業を継続するよう、県に強く要望し、国の制度化を働きかけられたい。町長 今年度から「克雪住まいづくり支援事業」に名称が変わったが継続されるので、今後も活用しながら屋根雪除雪を講じたい。



観光につながれば



除雪応援隊が活動

産業建設常任委員会

日本食研との懇談会

委員長 吉野 徹

津南営業所の取り組みと 関わりについて

昨年12月6日津南営業所を開設された、日本食研との懇談会を行いました。

創業35周年、国内外で独自の企業活動を展開され、世界の食品業界のなかで食文化発信基地として展開されている会社であります。

会社経営の方針は、自然豊かな津南農産物及び、食品加工の指導や、商品の開発・販売、取り組み、津南商品販売課を設置し、販売員8名から12名に増員され、町森林組合とフレンドシップのなかで、地域活性化の旗手として地域産業の活性化に貢献していくとの強い言葉をいただきました。大きな期待度の籠もった、有意義な懇談会でありました。

町建築協議会の 現状と課題

同日町建築協議会との懇談会を行い、建築業界に於ける厳しい実情と、今後の取り組みなどの協議をいたしました。中越地震から3年が経過し関係の復興事業が終結に向かい建築への発注数の減少のなか、対応策や今後の取り組みについて話し合いを行いました。建築協議会が6年前から実施しておられる技能士育成事業や、町内小学校での木工教室等の現状説明をいただき、行政への要望や支援策など話し合いを行いました。

また、町産業施策や農業施策等、自分たちも参画し、町振興計画の実施のなかで見えない部分、一緒になって町づくりをと、商工会のなかで「町づくり協議会」が発足され、新しい町民参画での町づくりの形態が生じてきたように思われました。

○ 森林・林業・木材関連産業政策と国有林野事業の健全化を求める意見書を全員賛成で提出しました。

〈提出先〉
衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
総務大臣
農林水産大臣
林野庁長官

○ 全国森林環境税の創設を求める意見書を賛成多数で提出しました。

〈提出先〉
衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
総務大臣
財務大臣
農林水産大臣
環境大臣



津南産業の活性化に

陳情・意見書

総文福祉常任委員会

21世紀の福祉が目指すもの

委員長 草津 進

社会福祉協議会の 課題と活動

明るい地域、明るい家庭安心して暮らせる町づくりのため、津南町ならではの福祉活動を展開している社協と懇談会を開催いたしました。

「重点事業目標」

- 1, 地域福祉、在宅福祉サービスの充実強化。
- 2, 地域ふれあいいきいきサービスマスターの推進。
- 3, ボランティアセンター機能強化の促進。
- 4, 高齢者、心身障害者、母子、父子福祉の推進。
- 5, 心配事相談所窓口業務の推進。
- 6, 社会福祉センターの整備促進。

6項目の重点事業目標により住民相互の協調協働が進められております。課題となっているのは、ボランティアセンターの設置とその機能の充実、研修体系の見直しと内容の充実が求められております。

委員会レポート

老人給食ボランティアには134名が登録されており、スタッフが高齢化が進んでおり、後継者不足が現状です。また、給食調理室の衛生面には最善の気配りをして対応されておりますが、調理場移転の要望も出されております。

社会福祉協議会の事務所は2階に位置しているため、高齢者、身障者の利用に支障があり、事務所の移転にあわせ老人給食センターを含めた社協事務所の建設が要望されております。少子化に伴う保育園、学校統合等見据え、空き建物を十分検討しながら早急の対応が必要と思っております。

障害者自立支援法の 課題と1割の重荷

11月28日に障害者各団体の現状と課題について懇談会を開催致しました。授産施設すみれ工房より障害者自立支援法の影響と問題点について説明がありました。新体系移行に向けての課題は、利用者の原則1割負担の影響が大きく、

工賃収入増を図るためには、土、日の営業も求められます。また、補助金の月額払いから、日額払いへの変更で、財源確保をどうするかという問題もあります。



1割負担の影響は！



シリーズ・町民の声
私をひと言

「子孫に遺す緑の財産」

中深見 中沢昌成さん



昨年は各地で人里における熊や猿の被害が多く報告された。餌になる植物の実が少ないとも言われているが、本当にそれだけなのだろうか。「早く何とかしてくれ」という自然界からのサインに思えて仕方がない。

今、山が荒れている。整備と称した乱開発、地球温暖化、追い打ちをかけるような豪雪。動植物は疲れ切っているだろう。

いつの頃からか私たちは自然への畏れと感謝が薄れてしまった。循環する生態系の一部でしか

いのに人間が生物の頂点と錯覚してしまった。

人間を生かしているものはお金や公共のサービスではない。豊かな自然があってこそ清らかな土、水、空気、そこから生み出される食物。本当に豊かなならば猿も熊もカモシカも人間に姿をみられずして腹一杯の生活が出来るはずだ。

緑豊かな津南に住む私たちは、先祖がしてくれたように、この大切な自然環境を必要以上に傷つけることなく、子孫に遺していく責任があると思う。

「新年を迎えて」

外丸 滝沢カツさん



さて、今年的一步、そして目標は何か、63歳の私には健康第一です。私たちの年代になると同世代の方が病で大事な命を亡くしています。自分の体は自分で気をつけ、働けるうちは働いて、自分のできることを精一杯がんばって生きたい。ときには旅行を兼ねて孫の顔を見に行くのが何よりの楽しみで幸せに毎日を過ごしています。月日の経つのは早いもので嫁にきて40年無我夢中で家のため子供のためとがんばって働いた日々でした。あの頃の農業は人力と馬や牛の力を使う農作業で

した。現在は電気や石油に頼り、すべてに金が必要です。働いて金をとるより楽をして金をとるために人をだまし、談合や振込み詐欺をする人、また殺人など金欲しさに悪いことをするようなニュースが続く毎日です。せめて私たちはイジメや自殺のない平和な社会を築くために力を合わせてがんばっていききたいものです。まずは災害のない年でありますように一年の無事と幸せを祈り初参りに行ってきました。

編集後記

昨年の豪雪とはうらはらに小雪でのどかな正月を過ごすことが出来ました。

亥年の今年は、選挙の当たり年でもあり、4月の県議選、7月の参議院選、10月の町議選と続きます。

天候不順も予想され、報道ではエルニーニョ現象の長期化などの影響で、地球の平均気温が高くなると報じられています。

どの様な状況でも津南には山林、水、そして豊かな田畑があります。高齢化社会に向け、自主防災組織を念頭にした相互協力による危機管理の仕組みも検討し、小さな町は小さな町らしく、知恵と努力と行動によって、一人一人が生きて暮らせる町になるよう努力したいと思っています。

何はともあれ、今年一年が元旦の初日の出のごとく、涼やかで、明るい一年でありますよう。

(富沢)

